鷺森別院で２日間の大法要□１
仏教いろは問答□２
組長・教区会議員など改選□３
法要・行事・研修会報告□４
特集・昨年11月の大法要□６
2023年度、2024年度決算□８
重点プロジェクト□９
新期宗会議員決まる、予算□10
得度・教師・敬弔、人事□11
響流十方、別院の催し□12

さぎのもり
『紀伊国名所図会』に描かれた江戸時代後期の鷺森御坊
2025年（令和7年）
10月1日
第136号
発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会　〒640-8053 和歌山市鷺森１番地　本願寺鷺森別院内　℡(073)422-4677　URL http://saginomori.or.jp/

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要 本堂再建30周年記念法要

鷺森別院で2日間の大法要

本堂にお参りできる尊さ、改めて実感

「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」が昨年11月24、25両日、鷺森別院本堂で勤修された。両日とも一座の法要のほか、記念講演、帰敬式などに多く参拝者が集った。

升巴輪番が導師を務め内陣と余間に17人が出勤、雅楽も入り盛大に勤められた初日の法要

鷺森別院では1990年（平成2）4月21、22両日、「顕如上人四百回忌法要・紀州門徒殉難者総追悼法要」を勤めたが、その法要の記念事業として本堂再建計画を策定。戦後間もない1948年（昭和23）に建てられた当時の本堂の老朽化を考慮しての再建計画だった。

計画は多くの方々の懇念によって実を結び、1年7カ月の工事期間を経て、1994年（平成6）10月4日に現本堂が竣工。総工費は、附属建物を含め9億5188万1638円という大事業だった。

竣工翌年の1995年（平成7）4月8、9両日には、大谷光真門主（現前門さま）ご親修による本堂落成慶讃法要を勤修。

竣工から22年経った2016年（平成28）5月15日には「本堂再建20周年記念法要」をお勤めした。

そして竣工から30周年を迎えた昨年の大法要は、親鸞聖人がご誕生されて800年、浄土真宗を開かれて850年という大きな節目に、鷺森別院本堂にお参りし、共にお念仏の教えを聞くことのできる尊さを改めて実感するご縁となった。

〈⑥⑦面に特集記事〉

令和７年８月豪雨 災害義援金にご協力ください

2026年（令和7）8月6日から13日の記録的大雨により、浄土真宗本願寺派でも熊本別院や一般寺院46カ寺（熊本41・山口3・鹿児島2）、100カ寺から報告のあった門信徒宅などで雨漏り・床上浸水・土砂流入などの被害が出ている。このため宗派では義援金を募っている。鷺森別院や各寺院にお寄せいただくか、下記の口座宛てにお送りください。

【郵便振替】01000-4-69957、加入者名＝たすけあい募金。

【銀行振込】ゆうちょ銀行一〇九店、（当座）0069957、名義＝たすけあい募金。

※郵便振替、銀行振込とも、通信欄に「令和7年8月豪雨　災害義援金」とご記入ください。

【問い合わせ】本山社会部〈災害対策担当〉、電話075（371）5181。

響流十方

10～3月の催し

本山

10月15～16日　龍谷会（大谷本願報恩講法要）
11月22～23日　秋の法要（全国門徒総追悼法要）
12月20日　御煤払
12月31日　除夜会
1月1日　元旦会・修正会
1月8日　大御身（親鸞聖人御真影の御身拭い）式
1月9日～16日　御正忌報恩講法要
2月7日　如月忌（九條武子さまの祥月命日法要）
3月17～23日　春季彼岸会

和歌山教区

10月2日　ビハーラサロン
10月6日　勤式講習会（一般寺院の報恩講に用いる勤行…三奉請、先請伽陀、四句念仏、回向など）
10月30日　近畿地区仏教婦人会大会（和歌山城ホール）
11月10日　布教団連続法座
12月4日　ビハーラサロン
1月17～18日　第3連区仏教壮年会セミナー
1月24～25日　仏教青年連盟第3ブロック研修会（白浜・ホテルシーモア）
1月29日　布教団連続法座
2月5日　ビハーラサロン
※会場は記載がないかぎり鷺森別院です。

教区内各組

和歌山組
9月29～30日　念仏奉仕団（西本願寺）
10月7・14・21日、11月4・11・18日　「お寺へイコーラス♪」歌唱練習（念誓寺）
12月6日　実践運動「人権啓発推進僧侶寺族研修会」・組内会（鷺森別院）
12月20日　キッズサンガ

和歌山東組
12月と3月　実践運動「お供えのおすそわけ」

和歌山西組
12月14日　組内会（正善寺）
1月または2月　実践運動「人権啓発推進僧侶研修会」（鷺森別院）

和歌山北組
12月上旬　僧侶研修会

海南組
12月8～9日　第5回念仏奉仕団（西本願寺）
1月24日　人権啓発僧侶・寺族研修会（西法寺）

海草組
未定　寺族女性会研修会、総代会研修会、仏壮会研修会、念仏奉仕団

伊那組
10月22日　寺族女性会研修会（京都市）
10月　勤式講習会（光円寺）
12月　組内会（光円寺）
1～3月の間　人権啓発僧侶研修会（光円寺）

有賀組
12月6日　組内会
未定　実践運動「人権啓発推進僧侶寺族研修会」

有田南組
9月17日　第9期連続研修会②（寶林寺）
未定　僧侶・寺族研修会（会場未定）
2月　実践運動推進委員会（4月4日キッズサンガ実施のための準備委員会）

日高組
10月6日　組報編集会議（善宗寺）
11月1日発行号（善福寺）
12月14日　真宗法座（円運寺）
12月20日　組内会（教尊寺）
2月2日　組報編集会議（3月1日発行号）
2月14日　組内会、実践運動推進僧侶委員会（専福寺）
3月7日　実践運動委員会（妙願寺）
3月28日　組会（長覚寺）

紀南組
10月9～10日　第11回門徒総代会念仏奉仕団（西本願寺）
未定　門徒総代会研修（報恩講参拝）

鷺森別院の催し

■常例法座　10月15、16日＝森祐真師（豊中市岡町北・浄久寺）。11月15、16日＝安堂芳雅師（宇治市木幡北畠・西光寺）。12月15、16日＝藤澤彰祐師（東近江市甲津畑町・浄光寺）。2026年（令和8）1月15、16日＝佐々木紀彦師（有田郡有田川町吉原・教念寺）、2月15、16日＝井上浩義師（兵庫県加古川郡播磨町吉田・正願寺）、3月15、16日＝荒木いずみ師（奈良県吉野郡大淀町大岩・西照寺）。いずれも午後1時30分からお勤め、引き続き3時ごろまで法話を聴聞する。

■報恩講　11月24～28日、宗祖親鸞聖人の祥月命日をご縁として恒例の報恩講をご本堂でお勤めする。

法要は27日までは午後1時30分から、28日は午前10時から。お勤めに引き続き、大野孝顕師（大阪市北区中崎西・正宣寺）の法話を聴聞する。

27日は教区布教団主催の通夜布教。教区内から布教使数人が出講し、翌午前零時ごろまで法話のリレー。

24日と27日は、和歌山組仏教婦人会連盟が「ダーナ活動」で手作りした日用雑貨などを販売。

各教化団体の参拝奨励日は24日＝寺族女性会、25日＝仏教壮年会、26日＝門徒総代会、27日＝仏教婦人会、28日＝門徒推進員。

■元旦会　2026年（令和8）1月1日、元旦会を本堂で。午前7時から正信念仏偈を行譜でお勤めし、輪番が年頭あいさつ。

■春季彼岸会　2026年（令和8）3月20日、本堂で。午後1時30分から仏説阿弥陀経をお勤めし、引き続き永原智行師（日高郡由良町・教専寺）が法話。

（本願寺鷺森別院　和歌山市鷺森1番地　電話073-422-4677）

日高別院の催し

■常例法座　10月15、16日＝森祐真師（豊中市岡町北・浄久寺）。2026年（令和8）1月15、16日＝佐々木紀彦師（有田郡有田川町吉原・教念寺）。いずれも午後1時から本堂でお勤め、引き続き2時15分まで法話。

■報恩講　12月5日から7日の3日間、恒例の報恩講を本堂で。お勤めは午後1時30分から。引き続き、長谷川義剛師（海南市名高・安養寺）の法話を聴聞する。

■除夜会・元旦会　12月31日、午後11時30分から除夜会を本堂でお勤め。年が明けた2026年（令和8）1月1日午前零時ごろから元旦会をお勤めし、輪番が年頭あいさつ。

■春季彼岸会・御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要　2026年（令和8）3月17日、春季彼岸会を本堂で。午後1時から仏説阿弥陀経をお勤めし、2時15分まで職員が法話。例年と同じく「御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要」を併修する。

（本願寺日高別院　御坊市御坊100番地　電話0738-22-0518）

若葉と純真の仏教いろは問答 9

▽阿弥陀さまの願いは究極のおせっかい!?

ある秋晴れの日、若葉は純真に案内されて初めてお寺の本堂に入った――。

純真　こちらがご本尊の阿弥陀さまだよ。

若葉　おぉ、初めて見ましたけどピカピカですね。

純真　ぼくたちを光で包み込んでくれている仏さまだからね。それと真横から見ると分かるんだけど、実は少し前に傾いてるんだ。

若葉　えっ、直さなくていいんですか？

純真　大丈夫、老朽化して傾いてるわけじゃないから（笑）。ところで、もし若葉さんのとっても大切な人が崖から落ちそうになっていたらどうするかな？

若葉　そりゃ「危ない！」と言って捕まえますよ。

純真　そうだよね。阿弥陀さまからしたらぼくたちは心配で心配で仕方がない存在なんだ。この前「本願」の話をしたけど、阿弥陀さまはそんな危なっかしいぼくたちをなんとか救いたいと願われて、願われるだけじゃなくて今まさに救い取ろうとされている。この前のめりのお姿はそのことを表してくださってるんだよ。

若葉　そうなんですね。でも阿弥陀さまの願いって具体的にどういうものなんですか？　ちなみに私の願いといえばテストでいい点が取れますように！かな。だって最近お母さんが「しっかり勉強しなさい！」ってうるさいんですよ。

純真　そうなんだ…ぼくたちの願いの場合は、やっぱり自分が中心になるよね。自分の願望をかなえるためだったり、自分に何かメリットがあることだったり。

若葉　あっ、確かにそうですね。

純真　阿弥陀さまの場合は、ご自分のことを中心にされるのではなくて、ぼくたちのことを第一に考えられた願いなんだ。ちょっと難しい表現になるけど、「生きとし生けるものを浄土というさとりの世界に生まれさせて、仏にさせる」という願いなんだけど。

若葉　つまり阿弥陀さまの願いというのは、私たちを仏さまにならせたいということですか？

純真　そうなんだ。でも、例えば「サッカー選手になりたい」と願うのは簡単だけど、その願いをかなえるためにはしっかり練習しないといけない。阿弥陀さまは願いが願いのままで終わらないように、とてつもなく長い間、ぼくたちのために修行してくださったんだ。

若葉　そこまでして私たちを仏さまにならせたいなんて。でも…こんなこと言ったら身もふたもないですけど、そもそも私、仏さまになりたいなんて思ったことないんですけど…。

純真　素直な気持ちをありがとう。ところで、若葉さんのお母さんが「勉強しなさい」って言うのはどうしてだろう？

若葉　そりゃいい学校に行かせて、いい仕事に就かせたいからとかじゃないですか。でもそれってさっきの話じゃないですけど、お母さんが自慢したいとかもあるんじゃないのって。

純真　うんうん、もしかしたらそれもあるかもしれないね。でもお母さんが若葉さんの幸せを願ってるのは間違いないと思うよ。

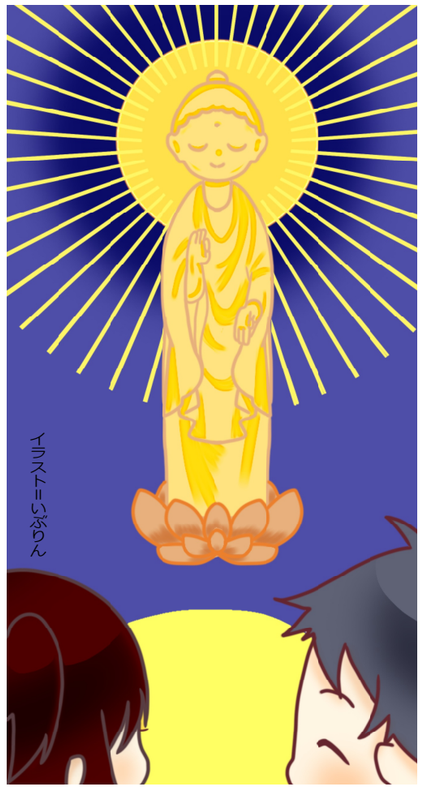
若葉　それは分かりますけど、私だって少しぐらい自分の将来の事は考えてますし、おせっかいというか。

純真　いやぁ、そういうことでいうと阿弥陀さまの願いは究極のおせっかいと思われるかもしれないね。ぼくたちが仏になりたいなんて思ったこともないのに、阿弥陀さまはそんなことおかまいなしで何としてもぼくたちを「仏にさせる」とおっしゃるんだから。

若葉　…うーん…でも阿弥陀さまは私にとってそれが一番いいと知っておられるということですよね。どうしてそんなことが分かるんだろう。

純真　やっぱりそう思うよねぇ。今度会うときまで若葉さんも考えてみてよ。

（本紙・荻野龍裕）



得度

2024年3月15日
鈴木一世（和歌山組念誓寺）
2024年6月15日
薗田香誠（和歌山組妙慶寺）
2024年12月15日
津村晃照（加茂組西福寺）
野口亜由美（紀南組光顔寺）
2025年2月15日
島本裕里（和歌山西組覚圓寺）
2025年3月15日
雑賀ひかり（和歌山組円明寺）
2025年6月15日
西川弥生子（和歌山北組真稱寺）
畠中希衣（海南組光澤寺）

教師

2023年5月19日
西川茉莉子（和歌山北組真稱寺）
2023年9月26日
中岡俊晃（海南組願成寺）
2024年2月28日
西殿恵美子（和歌山組西正寺）
2024年5月8日
楠山顕也（御坊組浄専寺）
2024年7月12日
山髙貢平（伊那組玉川寺）
2025年2月21日
中原優（有田北組教蓮寺）
梶信敬（紀南組正念寺）
2025年6月4日
亀井大慈（日高組長覚寺）
鷲山和希（和歌山組西慶寺）
2025年6月26日
鈴木一世（和歌山組念誓寺）

敬弔

南方杳美（和歌山組西慶寺・衆徒）2022年3月20日
志賀道弥（加茂組浄満寺・衆徒）2023年5月3日
仲河三郎（海草組称名寺・衆徒）2023年6月3日
岩清水茂子（海草組西方寺・前坊守）2023年10月19日
玉川芳子（加茂組徳願寺・前坊守）2023年12月2日
中川睦子（有賀組安樂寺・坊守）2023年12月20日
脇坂淑子（和歌山西組光源寺・前坊守）2024年1月29日
齋藤賢子（加茂組豊蓮寺・前坊守）2024年2月16日
島和也（和歌山組西覺寺・衆徒）2024年3月8日
山髙アツ子（伊那組玉川寺・坊守）2024年3月29日
佐々木智晃（紀南組專光寺・坊守）2024年4月1日
祇園秀宣（加茂組西方寺・住職）2024年4月23日
藤範千鶴子（和歌山北組照福寺・坊守）2024年6月26日
吾勝アツ子（加茂組眞教寺・坊守）2024年6月27日
山本勝人（和歌山北組浄永寺・前々住職）2024年7月14日
平林幸惠（有田南組福藏寺・前坊守）2024年8月11日
津村清信（和歌山組浄專寺・住職）2024年9月19日
西村真一（有田南組證天寺・住職）2024年11月2日
三原義弘（御坊組浄国寺・前住職）2024年11月18日
篠原洋子（御坊組三明寺・坊守）2025年1月2日
寺本澄子（加茂組教徳寺・前坊守）2025年2月2日
三枝正憲（有賀組円照寺・住職）2025年3月11日
岡村紗綺子（海南組願照寺・坊守）2025年3月15日
川瀬良子（海南組教專寺・衆徒）2025年3月22日
中谷眞作代（和歌山西組正立寺・坊守）2025年4月1日
亀井喜美子（有田北組西光寺・坊守）2025年4月5日
寺本美子（加茂組光輪寺・坊守）2025年4月7日
笠井智量（加茂組光福寺・前住職）2025年4月8日
田中直人（海南組元正寺・住職）2025年6月
得中克子（和歌山組称名寺・前住職）2025年7月22日

生前のご活躍ご尽力に感謝申し上げ、謹んで敬弔の意を表します。

教務所・別院人事

新職員　▽2024年4月1日付＝下間優樹（24歳、和歌山東組信樂寺衆徒）＝常勤職員。「いつもお世話になっております。皆さまと共に和歌山教区の活性化のために努めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。なお、私は小学校から高校まで野球をしており、現在は〝チームさぎのもり〟という和歌山教区寺族青年連盟の野球チームに参加させていただいております。興味のある方は、ぜひご参加ください！」。

下間優樹新職員

▽2024年8月1日付＝近藤生信（27歳、有田北組松林寺衆徒）＝常勤職員。「1年3カ月勤務した四州教区教務所・本願寺塩屋別院・本願寺高知別院から異動となりました。有田川町にあるお寺で生まれ育ち、鷺森別院は幼少期から住職である父に連れられ参拝したり、行事に参加したりとご縁の深い場所です。そんなご縁のある別院に奉職できることに感謝し、宗務に励ませていただきます」。

近藤生信新職員

▽2025年9月1日付＝藤井諦伸（30歳、海草組西方寺衆徒）＝常勤職員。「8月末まで築地本願寺に4年5カ月奉職しておりました。築地では別院業務として伝道企画部情報システム担当で4年、法要行事部で2カ月間ほど仕事をしておりました。趣味はライブ鑑賞、映画鑑賞ですが、最近はジムに通っています。教務所業務は初めてで分からないことが多いですが、精いっぱい頑張ってまいりますので、これからよろしくお願いします」。

藤井諦伸新職員

退職　▽2024年3月31日付＝神谷暁生（紀南組勝徳寺住職）＝契約職員。2022年4月1日から2年間勤務した。

▽2025年3月31日付＝稲田唯純（奈良教区吉野北組立興寺衆徒）＝常勤職員。2023年4月1日から2年間勤務した。

再入職　▽2025年2月7日付＝横出顕悟（30歳、和歌山北組教願寺衆徒）＝非常勤職員。2022年12月21日から2024年3月31日まで1年3カ月余り勤務し退職したが、再入職。

異動　▽2025年7月1日付＝花田和樹（52歳、海草組教了寺住職）、浄土真宗本願寺派宗務所寺院活動支援部へ（事務職員）。2024年4月1日から1年3カ月間、日高別院副輪番・認定子ども園御坊幼稚園園長・和歌山教区教務所事務職員・鷺森別院一般職員を務めた。

和歌山教区の新期宗会議員決まる

浄土真宗本願寺派宗会議員任期満了に伴う選挙が昨年12月14日に行われ、和歌山教区では僧侶議員・門徒議員とも定員（1人）と同数の立候補があり、僧侶議員に荻野昭裕さん（海南組浄國寺住職）、門徒議員に立花美一さん（海南組浄國寺門徒）が選出された。お二人にお言葉を頂いた。

皆さまのご支援のもと、宗会議員5期目の機会を頂きましたことに感謝申し上げます。

総局に入らせていただき、副総務、総務、総長、そして総務と4年半の期間、宗門の責任の一端を担ってまいりました。

この間、宗派の財政の健全化を図り、約5年かけて何とか収入と支出の均衡が保てるようになりました。

しかし課題は山積しています。賦課基準の見直し、北境内地の使用法、各教化団体の会員数の減少、本山本願寺の建物維持、宗派の建物が順次耐用年数を迎えること、さらには大谷本廟の第一無量寿堂の耐震補強など数え上げたらきりがありません。

その中を待ったなしの状況で宗派は進んでいきます。私もさらに研鑽を積み、教区に、宗派に貢献したいと思います。

荻野昭裕さん

多くの諸先輩方々のご支援を頂き、初めて門徒宗会議員に選出を頂いたことは、身に余る光栄であると同時に身の引き締まる思いです。

現在和歌山教区では、急激な過疎化の進行、檀家数減少に伴う寺院存亡の危機などの諸問題を抱えています。その方策を宗門に問い掛け、門徒の立場で新たな発想を模索しながら取り組んでいきたいと思っています。

立花美一さん

宗門の「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）の根幹には「人・心・愛・情熱」の四つの柱が不可欠であると考えています。なかでも「人」については、浄土真宗を次世代へ伝えていくため若年層の人材の育成が急務です。

そのためにも微力ながら鋭意努力する所存ですので、皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

荻野議員は宗派総務・総長を歴任

荻野議員は宗派総務を務めていた2024年（令和6）3月8日、第323回定期宗会において総長に選出された。和歌山教区からの総長誕生は初。これを受け総長就任祝賀会が同5月31日にダイワロイネットホテル和歌山で開かれ、110人が参加。荻野議員は同12月20日まで総長を務めた。

2025（令和７）年度 本願寺鷺森別院一般会計歳計予算

歳入の部　2025（令和７）年４月１日～2026（令和８）年３月31日

款	費　目	予算額(円)	説　　明
1	懇志	8,500,000	各種懇志
2	回付金	5,710,000	特別会計・教区会計※より回付
3	各種交付金	200,000	教化助成費等
4	維持費	4,240,000	別院護持費等
5	負担金	30,100,000	人件費負担金※（教区・幼稚園）
6	雑収入	450,000	施設使用懇志等
7	前年度繰越金	18,500,000	2024年度より繰り越し見込み
合　計		67,700,000	

歳出の部

款	費　目	予算額(円)	説　　明
1	法務費	3,120,000	荘厳費、法要費
2	教化費	2,260,000	常例布教・各種教化費
3	事務費	45,650,000	人件費、水道光熱費等
4	会議費	100,000	責任役員・総代会費等
5	維持費	14,100,000	営繕費、保険料等
6	積立金	1,000,000	営繕積立金・退職積立金へ回付
7	予備費	1,470,000	
8	回付金	0	※費目削除
合　計		67,700,000	

2025（令和７）年度 和歌山教区一般会計歳計予算

歳入の部　2025（令和７）年４月１日～2026（令和８）年３月31日

款	費　目	予算額(円)	説　　明
1	教区賦課金	32,890,000	教区賦課金（276カ寺）
2	宗派交付金	1,980,000	各種宗派助成金
3	願記手数料	1,000,000	各種教区願記手数料
4	回付金	2,300,000	特別会計より回付
5	雑収入	3,080,000	各種研修会・行事参加費等
6	繰越金	3,350,000	2024年度より繰り越し見込み
7	繰入金	300,000	※費目新設
合　計		44,900,000	

歳出の部

款	費　目	予算額(円)	説　　明
1	実践運動推進費	10,020,000	実践運動関係費、組助成費等
2	会議費	870,000	教区会・組長会その他会議費
3	宗会選挙事務費	50,000	選挙管理委員会開催費
4	教務所費	28,580,000	人件費※、事務費、諸費等
5	維持費	2,700,000	水道光熱費※、維持管理費※
6	回付金	1,350,000	各種特別会計へ回付
7	予備費	1,330,000	
合　計		44,900,000	

※教区一般会計歳出の部「人件費」「水道光熱費、維持管理費」は、鷺森別院一般会計歳入の部「回付金」「人件費負担金」へ回付されます。

組長・教区会議員・教区6団体委員が改選

◆**組長**（任期2024年4月1日～2028年3月31日）

▽和歌山組＝得中茂（称名寺）▽和歌山東組＝林博行（教明寺）▽和歌山西組＝脇坂元信（光源寺）▽和歌山北組＝北本一紀（浄源寺）▽加茂組＝玉川俊哉（徳願寺）▽海南組＝和本正也（西法寺）▽海草組＝仲河泰秀（称名寺）▽伊那組＝藤範信介（光円寺）▽有賀組＝調智美（照圓寺）▽有田南組＝近藤信龍（興善寺）▽有田北組＝三浦良成（極楽寺）▽日高組＝永原智行（教專寺）▽御坊組＝青木和教（明鏡寺）▽眞田陵（紀南組浄行寺）

※組長代表は永原智行師（日高組教專寺）

◆**教区会議員**（任期2024年4月1日から2028年3月31日）

▽和歌山組＝僧侶・佐々木敏宏（專養寺）、門徒・鈴木裕（宗善寺）▽和歌山東組＝僧侶・藤齋眞理（正願寺）、門徒・東岡百合子（蓮光寺）▽和歌山西組＝僧侶・栗本滋博（法專寺）、門徒・松井憲男（西住寺）▽和歌山北組＝僧侶・武内善信（善勝寺）、門徒・保田史郎（浄源寺）、▽加茂組＝僧侶・中田周敬（徳應寺）、門徒・岡室一彦（青蓮寺）▽海南組＝僧侶・中岡俊樹（願成寺）、門徒・立花美一（浄國寺）▽海草組＝僧侶・稲垣貴史（蓮乘寺）、門徒・金谷善進（眞宗寺）▽伊那組＝僧侶・中田三恵（教善寺）、門徒・溝根央（浄願寺）▽有賀組＝僧侶・今井信正（大光寺）、門徒・山本喜久男（西方寺）▽有田南組＝僧侶・平林宗樹（福藏寺）、門徒・小川富弘（福藏寺）▽有田北組＝僧侶・川嶋周藏（光明寺）、門徒・佐々木勝（教念寺）▽日高組＝僧侶・藤本使朗（即生寺）、門徒・川﨑英直（即生寺）▽御坊組＝僧侶・柳岡直樹（常照寺）、門徒・細谷廣延（專福寺）▽紀南組＝僧侶・北條一穂（妙道寺）、門徒・栗田勝敏（妙道寺）

※教区会議長は中田周敬師（加茂組德應寺）、教区会副議長は溝根央氏（伊那組浄願寺）

◆**門徒総代会**（任期2024年4月1日～2026年3月31日）

▽会長＝田端三津雄（日高組宝国寺）▽副会長＝保田史郎（和歌山北組浄源寺）、金谷善進（海草組眞宗寺）▽会計＝山田英一（御坊組源行寺）▽監査＝太田雄造（和歌山組專念寺）、宗泰雄（有賀組正善寺）▽委員＝坂口功（和歌山東組西教寺）、松井憲男（和歌山西組西往寺）、岡室博和（加茂組青蓮寺）、北野治（海南組光徳寺）、谷口庄亮（伊那組西照寺）、中尾一平（有田南組極楽寺）、石津昭（有田北組浄満寺）、蒲田嵩（紀南組勝德寺）

◆**門徒推進員連絡協議会**（任期2024年4月1日～2026年3月31日）

▽会長＝立花美一（海南組浄國寺）▽副会長＝新井和美（和歌山西組正善寺）、道場雅夫（有田南本勝寺）▽監査＝内田孝（和歌山組本弘寺）、東山富子（有田北組浄念寺）▽理事＝小林勝司（和歌山組西慶寺）、尾﨑好成（和歌山組法林寺）、保田史郎（和歌山北組浄源寺）、松井伸子（和歌山北組教願寺）、川崎英直（御坊組即生寺）、細谷廣延（御坊組專福寺）

◆**仏教婦人会連盟**（任期2024年4月1日～2027年3月31日）

▽委員長＝上岡しず江（有田北組西光寺）▽副委員長＝島村美穂（和歌山組・鷺森別院）、乙井八重子（和歌山東組正願寺）▽会計＝中野真由美（加茂組教徳寺）、杉田奈津子（海南組教法寺）▽監査＝宮本理恵（和歌山西組法專寺）、山本尚子（和歌山北組慶圓寺）▽委員＝増井京子（海草組積善寺）、田中美和子（伊那組光円寺）、伊佐由美子（有賀組正善寺）、五島郁子（有田南組円光寺）、大井美由姫（日高組円明寺）、古久保聡子（御坊組天性寺）、木下美鈴（紀南組満願寺）

◆**少年連盟**（任期2024年4月1日～2026年3月31日）

▽委員長＝山本行圓（伊那組蓮乘寺）▽副委員長＝島晃祐（和歌山組西覺寺）▽会計＝長田義久（和歌山西組西勝寺）▽監査＝鈴木玲（和歌山北組蓮乘寺）▽委員＝西岡俊慶（和歌山東組西教寺）、森田知恵（加茂組正光寺）、小坂徳秀（海南組光明寺）、麻生卓（海草組法照寺）、玉川直城（有賀組西方寺）、板原充弘（有田南組円光寺）、菅原健（有田北組教蓮寺）、埜崎教信（日高組覚性寺）、川越顕之（御坊組正覺寺）、庵戸眞道（紀南組安楽寺）

◆**寺族女性会**（任期2025年4月1日～2027年3月31日）

▽委員長＝嶋順子（和歌山組專光寺）、▽副委員長＝森田知恵（加茂組正光寺）、刀禰佳容子（海草組積善寺）▽会計＝中山由理（和歌山北組光源寺）▽委員＝藤齊眞理（和歌山東組正願寺）、栗本香代子（和歌山西組德号寺）、松本昌子（海南組了賢寺）、藤川晶（伊那組明光寺）、志場むつみ（有賀組正善寺）、池永弥生（有田南組安楽寺）、三浦郁美（有田北組極楽寺）、櫨原きよみ子（日高組妙願寺）、青木悦子（御坊組明鏡寺）、北條智佐子（紀南組妙道寺）

◆**寺族青年連盟**（任期2025年4月1日～2027年3月31日）

▽委員長＝辻本真一朗（和歌山組西念寺）▽副委員長＝藤本英史（和歌山北組正念寺）、山髙貢平（伊那組玉川寺）▽会計＝佐々木実結（紀南組專光寺）▽監査＝山本龍法（和歌山北組浄永寺）、北山覚（有田南組最勝寺）▽委員＝西岡俊弥（和歌山東組西教寺）、藤下洸俊（和歌山西組正圓寺）、杉山龍法（和歌山北組永正寺）、齋藤亮太（加茂組青蓮寺）、荻野龍裕（海南組浄國寺）、岩清水成海（海草組西方寺）、宇多真海（伊那組光明寺）、茂野大五郎（有田北組浄念寺）、埜﨑教信（日高組覚性寺）、川越顕之（御坊組正覚寺）

※敬称略

鷺森別院で行われた主な法要・行事・研修会

2023年6月下旬～2025年7月

■2023年（令和5）■

6月25日　ビハーラサロン「おしゃべりカフェひだまり」。8月21日、12月4日にも開催。

6月29日　教区寺族青年連盟研修会（オンライン併用）。講師・若新雄純さん（㈱NEWYOUTH代表取締役、慶應義塾大学特任准教授※いずれも当時、真宗山元派僧侶）「思春期を引きずる中年男子とお寺の不思議な関係」※オンラインで講義。参加者8人。

7月8日　教区仏教青年連盟「TERAMATE～ボードゲーム会」。参加者7人。9月9日（参加者7人）、11月11日（9人）、12月9日（6人）にも開催。

7月9日　第30回平和を希う念仏者の集い～全戦没者追悼法要～。講師・木川剛志さん（和歌山大学観光学部教授）「私が和歌山の空襲、戦争の研究を続ける理由～今、聞き、語り継がなければならないこと～」。参拝者96人。

7月21日　公聴会（本山とオンラインで結び北海道教区・高岡教区と同時開催）。宗派出向者・荻野昭裕さん（総務※当時、海南組淨國寺住職）、三好慶祐さん（総務※当時）、加藤尚史さん（副総務※当時）ほか。参加者37人。

10月6日　第3ブロック少年連盟指導者研修会。講師・吉村春生さん（西九州大学非常勤講師、佐賀県医療センター好生館看護学院非常勤講師）「心がかぜをひくときー〝安心感〟と自立ー」。参加者31人（和歌山教区から11人）。

10月10日　教区布教団研修会（オンライン併用）。講師・佐々木義英さん（浄土真宗本願寺派総合研究所元副所長）「浄土真宗の源流」。参加者16人。

10月27日　実践運動「人権啓発僧侶研修会」。映画『ドキュメンタリー沖縄戦～知られざる悲しみの記憶～』上映。参加者20人。

11月22日～12月11日　教区少年連盟「第26回子ども作品展」。教区内児童・生徒98人から書道86点、絵画1点、塗り絵25点の合計112点応募。入賞者は【書道の部】▽本願寺鷺森別院賞＝下原芽衣、村松怜奈▽輪番賞＝川取明咲、西村魁人▽少年連盟特別賞＝池長瑞華、石田心路、石田慈、滝本果穂、中本葵、西村魁人、前田恵依、安村実莉、山尾奏斗、湯浅咲、湯浅結月。【絵画の部】▽本願寺鷺森別院賞＝中本桜。【塗り絵の部】▽本願寺鷺森別院賞＝樋尻百花▽輪番賞＝浦﨑えま▽少年連盟特別賞＝川嶌きお、山本実里。※敬称略。

11月24～28日　報恩講。講師・柱本惇さん（京都教区下東組明覚寺）。11月27日「通夜布教」に教区布教団から山本行圓さん（伊那組運乗寺）、清水光宣さん（御坊組専福寺）、藤田眞雄さん（日高組西教寺）が出講。

11月26日　責任役員・門徒総代辞令伝達式。参加者67人（16カ寺）。※対象は2023年（令和5）4月1日から9月30日までに申請して責任役員・門徒総代になられた方。

12月15日　本願寺派仏教青章取得のための研修会（ボーイスカウト団員対象）。講師は教区寺族青年会連盟委員。参加者2人。12月22日、2024年（令和6）1月12日、1月19日、1月26日にも開催。

■2024年（令和6）■

1月20日　教区門徒総代会「鷺森別院清掃奉仕」。参加者28人。

1月23日　教区寺族女性会研修会。講師・西永亜紀子さん（和歌山組西教寺衆徒、築地本願寺SDGsおてらネットワーク代表）「SDGsについて考えよう～ジェンダー平等～」。参加者46人。

1月29日　教区布教団連続法座（オンライン併用）。講師・内藤昭文さん（本願寺派司教・布教使）「『仏説無量寿経』に聞く」。参加者12人。2月22日（参加者13人）、3月26日（16人）にも開催。

2月7日　新しい「領解文」（浄土真宗のみ教え）学習会。宗派出向者・公文名正真さん（総務※当時）、満井秀城さん（勧学、総合研究所所長※当時）、中井真人さん（統合企画室幹事）。参加者41人。

2月10日　教区仏教青年連盟「TERAMATE～ボードゲーム会」。参加者7人。5月11日（参加者1人）、6月8日（5人）、7月13日（5人）、8月10日（6人）、9月14日（11人）、10月12日（8人）、11月9日（7人）、12月14日（7人）にも開催。

3月11日　ビハーラ和歌山公開研修会。講師・黒川雅代子（龍谷大学短期大学部教授）「遺族ケア～大切に関わるために～」。参加者23人。

2月26日　ビハーラサロン「おしゃべりカフェひだまり」。4月8日、6月10日、8月1日、10月8日、12月2日にも開催。

5月13～16日　二尊会。講師・藤満智徳さん（奈良教区広瀬組光徳寺）。

5月18日　初参式。受式者2人。

5月18日　宗祖降誕会。講師・澄川緑乃さん（奈良教区広瀬組善巧寺）。

6月2日　賦課基準総局試案説明会。参加寺院175カ寺（63%）。

6月3日　勤式講習会。参加者9人。6月10日（参加者4人）、7月3日（11人）、9月5日（7人）、10月3日（4人）にも開催。

6月19～21日　得度講習会・考査。参加者4人。

7月9日　第31回平和を希う念仏者の集い～全戦没者追悼法要～。講師・志賀賢治氏（元広島県平和記念資料館館長）「原爆がもたらしたもの、奪ったもの『記憶の博物館』の軌跡と課題」。参拝者65人。

7月19日　特別法務員並びに法務員研修会。講師・三上慧さん（本願寺式務部職員）「新制御本典作法について」。参加者10人。

8月1日　公聴会。宗派出向者・荻野昭裕さん（総長※当時、海南組淨國寺住職）、中井真人さん（社会部長・所務部長）。参加者63人。

11月24日～12月9日　教区少年連盟「第27回子ども作品展」。教区内児童・生徒98人から書道90点、絵画2点、塗り絵29点の合計121点応募。入賞者は【書道の部】▽本願寺鷺森別院賞＝鈴木結空、西村魁人▽輪番賞＝中本桜、西村奏音▽少年連盟特別賞＝石田心路、小野美咲、久堀彩夢、小山予紫乃、嶋藤慧、下原優芽、高戸音葉、中本葵、長谷川唯花、村松怜奈、山尾奏斗、湯淺芙己。【絵画の部】▽本願寺鷺森別院賞＝中本桜▽少年連盟特別賞＝西村奏音。【塗り絵の部】▽本願寺鷺森別院賞＝庄田

2025年度 重点プロジェクト

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）和歌山教区委員会

総合基本計画

和歌山教区では、宗門の総合基本計画に基づき、伝灯奉告法要のご親教「念仏者の生き方」に学び、自他ともに心豊かに生きることのできる社会をめざし、さらに僧侶・寺族・門信徒が手を携えて真の同朋教団・伝道教団としての責務を果たすため、また、寺院活動の活性化をはかり、ともにお念仏を喜ぶ仲間の輪をひろげるため、次世代を担う人の育成を継続して行い「御同朋の社会をめざす運動」を展開いたします。

スローガン

「結ぶ絆から、広がるご縁へ」

活動内容

運動推進にあたり、活動内容を具体的に明確化するため、教区の会議体、教化団体、各種団体とともに、左記の専門部会を設置し、相互の連携のもとで運動の展開を図ります。

研修部会　僧侶・寺族の研修、伝道教化・法座活動の実践と支援に関すること。

教化部会　連研、門信徒の教化、子ども若者ご縁づくり推進に関すること。

広報部会　教区報・ホームページなど様ざまな媒体を使用した広報活動に関すること。

社会部会　人権啓発、平和問題への取り組み、社会福祉活動推進に関すること。

重点プロジェクト

【重点プロジェクトについて】

「重点プロジェクト」は、「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）総合基本計画に基づき、具体的な実践目標を定め取り組むものです。和歌山教区では、「重点プロジェクト」の「実践目標」を「（1）〈貧困の克服に向けて～Dana for World Peace～）－子どもたちを育むために－」、「（2）寺院活動の活性化をはかる」と掲げ、組・寺院と連携しつつ、強力に取り組みを進めていきます。

【推進期間】

2024（令和6）年度から2027（令和9）年度までの4年間

【推進計画】

▼達成目標

（1）募金箱の全力寺送付及び設置

（2）多様な手段を通じた寺院からの情報発信力の強化（寺報・教区報・掲示板・SNS等）

▼推進計画

（1）前年度の見直し

（2）門信徒学習会の開催

推進機関

【名称】

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）和歌山教区委員会

【委員】

▽**委員長**＝永原智行（日高組専寺）

▽**副委員長**＝玉置證（和歌山組養専寺）、立花美一（海南組淨國寺）

▽**中央委員**＝永原智行（日高組教専寺）

▽**研修部会**＝北本一紀（部会長・和歌山北組淨源寺）、島和夫（和歌山組西覺寺）、西永由子（和歌山組西教寺）、北本一紀（和歌山北組淨源寺）、松本教智（海南組了賢寺）、中田三恵（伊那組教善寺）、藤範信介（伊那組光円寺）、宇多光誠（伊那組光明寺）

※敬称略

各組の実践目標

▽**和歌山組**＝研修会を開催し、貧困問題について学びを深める。組内全力寺にて「子どもたちの笑顔のために募金」を奨励する。

▽**和歌山東組**＝子どもの育成支援に取り組む。

▽**和歌山西組**＝組内全力寺にて「子どもたちの笑顔のために募金」を奨励する。

▽**和歌山北組**＝寺院活性化を目指す。

▽**加茂組**＝下津町の子ども食堂（下津保健福祉センター）の活動を見学、参加する。おてらおやつクラブの仕組みを実践者の徳願寺坊守から説明を受ける。光輪寺住職が参加する、ビハーラ活動の実際をまとめた資料を作成し組内に共有する。

▽**海南組**＝研修会の開催。今私が出来ることから始める。募金活動の奨励。

▽**海草組**＝研修会を開催し、貧困問題について学びを深める。組内全力寺にて「子どもたちの笑顔のために募金」を奨励する。

▽**伊那組**＝研修会を開催し、貧困問題について学びを深める。組内全力寺にて「子どもたちの笑顔のために募金」を奨励する。

▽**有田北組**＝〈貧困の克服に向けて～Dana for World Peace～）－子どもたちを育むために－にご縁を深め、聴聞の機会を通して、念仏者としての生き方を考える。非戦平和について考える。

▽**日高組**＝貧困の克服に向けて。

▽**御坊組**＝各寺院の護持発展のため僧侶・門信徒の交流を深める取り組み。

▽**紀南組**＝みんなで集まろう～広域組における活動再開～。

▽**有田南組**＝貧困の克服に向けて。

▽**社会部会**＝島和夫（部会長・和歌山組西覺寺）、庵戸眞道（紀南組安楽寺）

（海南組淨國寺）、荻野龍裕（海南組淨國寺）、荻野真由美（海南組淨國寺）、立花美一（海南組淨國寺）、岩清水鼻子（海草組西方寺）、前川幸三（伊那組西照寺）、上岡しず江（有田北組西光寺）、田端三津雄（日高組宝国寺）、大岡和真（教区仏教青年連盟委員長）

▽**広報部会**＝板原充弘（部会長・有田南組円光寺）、玉置證（和歌山組養専寺）、辻本真一朗（和歌山組西念寺）、大須賀拓善（和歌山組法林寺）、幸馬昌史（和歌山西組正善寺）、横出顕悟（和歌山北組教願寺）、加藤義秀（海南組光徳寺）、荻野真由美（海南組淨國寺）、立花美一（海南組淨國寺）、岩清水鼻子（海草組西方寺）、前川幸三（伊那組西照寺）、上岡しず江（有田北組西光寺）、田端三津雄（日高組宝国寺）、大岡和真（教区仏教青年連盟委員長）

▽**教化部会**＝山本行圓（部会長・伊那組運乗寺）、加藤義秀（海南組光徳寺）、荻野真由美（海南組淨國寺）、立花美一（海南組淨國寺）、岩清水鼻子（海草組西方寺）、前川幸三（伊那組西照寺）、上岡しず江（有田北組西光寺）、田端三津雄（日高組宝国寺）、大岡和真（教区仏教青年連盟委員長）

▽**社会部会**＝島和夫（部会長・和歌山組西覺寺）、西永由子（和歌山組西教寺）、吉田敬子（和歌山組東組正善寺）、北本一紀（和歌山北組淨源寺）、松本教智（海南組了賢寺）、中田三恵（伊那組教善寺）、藤範信介（伊那組光円寺）、宇多光誠（伊那組光明寺）

※敬称略

平和花▽輪番賞＝森みおな▽少年連盟特別賞＝国本陽葵、熊代瑛斗、福原ほのか、山本きはる、山本実里。※敬称略。

11月24～28日　報恩講。講師・岡橋聖舟さん（京都教区城南組西方寺）。11月27日「通夜布教」に教区布教団から岩清成海さん（海草組西方寺）、岩﨑信さん（日高組蓮専寺）、寺本泰宣さん（加茂組教徳寺）が出講。

11月26日　責任役員・門徒総代辞令伝達式。参加者67人（16カ寺）。※対象は2024年（令和6）4月1日から9月30日までに申請して責任役員・門徒総代になられた方。

■2025年（令和7）■

1月11日　教区仏教青年連盟「TERAMATE（テラマート）～ボードゲーム会」。参加者5人。2月8日（参加者9人）、5月10日（7人）、7月14日（7人）、7月12日（4人）、8月9日（不明）、9月13日（10人）にも開催。

1月20日　実践運動「人権啓発僧侶研修会」。講師・蔀正永さん（一般財団法人同和教育振興会講師団講師・京都教区下東組西方寺）「過去帳又はこれに類する帳簿の取り扱いについて」。参加者15人。

1月22日　教区布教団連続法座。講師・内藤昭文さん（本願寺派司教・布教使）「『仏説無量寿経』に聞く」。参加者9人。7月17日（参加者13人）にも開催。

1月27日　近畿ブロック寺族婦人研修会（和歌山教区担当）。講師・露の団姫さん（落語家・天台宗僧侶）、野世真隆さん（大阪教区住吉組光陽寺）「前に生まれん者は後を導き、後に生まれん者は前を訪え」。参加者239人（和歌山教区56人）。

1月30日　実践運動「僧侶・寺族研修会」。講師・井上見淳さん（浄土真宗本願寺派司教、龍谷大学教授）「小児往生について考える～江戸時代の論争に学ぶ～」。参加者27人。

2月1日　2024年度第1ブロック（和歌山組・和歌山東組・和歌山西組・和歌山北組・海草組・伊那組）門信徒総研修会〈聞法の集い〉。講師・野村淳爾さん（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）。参加者28人。

3月7日　教区門徒総代会「鷺森別院清掃奉仕」。参加者38人。

3月8日　第3連区門徒推進員実践運動研修会（和歌山教区担当）。講師・中川大城さん（奈良教区葛城北組無量寺）「『念仏者の生き方』について学びを深める～親鸞聖人のみ教えを依りどころに生きる～」。参加者83人（和歌山教区13人）。

2月23日　ビハーラサロン「おしゃべりカフェひだまり」。4月3日、6月5日、8月7日にも開催。

4月21日　勤式講習会。参加者3人。5月19日（参加者1人）、7月17日（7人）にも開催。

5月13～16日　二尊会。講師・石﨑博敍さん（大阪教区天野南組大円寺）。

5月18日　初参式。受式者2人。

5月18日　宗祖降誕会。講師・岡藤こころさん（大阪教区石川南組観念寺）。

6月20～22日　得度講習会・考査。参加者3人（得度考査4人）。

6月27日　実践運動「人権啓発僧侶研修会」。映画『かづゑ的』上映。参加者20人。

7月9日　第32回平和を希う念仏者の集い～全戦没者追悼法要～。講師・北氏緋紗さん（和歌山北組教願寺前住職）、同・内田孝さん（和歌山組本弘寺門徒）、コーディネーター・中田三恵さん（伊那組教善寺住職）「戦争体験を聞く」。参拝者140人。

青色青光

本山で清掃奉仕

第50回児童念仏奉仕団

和歌山教区少年連盟（山本行圓委員長）では7月29日から30日（1泊2日）、教内寺院門信徒の子弟など5歳から13歳のお子さん79人と引率者18人が大型バス2台で「第50回児童念仏奉仕団」として京都・西本願寺へ。初日は御影堂の畳の雑巾がけなどの清掃奉仕をしたほか、クイズラリーに参加。2日目はお晨朝参拝に始まり、大谷光淳門主とのご面接・記念撮影も。帰りは京都水族館を見学した。

和歌山東組

旭学園に「お供えのおすそわけ」届ける

和歌山東組（林博行組長）では8月20日、組内の各寺院から同組玄通寺（和歌山市太田）へと持ち寄られた食品や日用品などを児童養護施設・旭学園（和歌山市冬野）へ届けた。

これは同組が実践運動の一環として2023年（令和5）8月21日から展開している「お供えのおすそわけ」活動。児童養護施設に入所されているお子さんを支援するため、お寺にお供えとして頂く物に余裕があれば、〝おすそわけ〟として提供しようと始められたもので、初回以降、年末、春のお彼岸明け、お盆明けと年3回の活動を続け、今度で7回目。

今回届けたのは、野菜（サツマイモなど）、果物、スイカ、そうめん、菓子（クッキー、ポテトチップスなど）、フルーツ缶、ジュース、カルピス、調味料、ペーパータオルなど（写真）。

和歌山組

第8期連研終える

和歌山組（得中茂組長）では7月20日、第8期連研（門徒推進員養成連続研修会）の最終となる12回目の研修と修了式を鷺森別院本堂で行った。

同組では第7期連研を2019年（平成31）3月9日に終えたが、折からの新型コロナの影響で約4年半は休止。ようやく2023年（令和5）9月17日に第8期をスタートし、2カ月に一度の研修を12回重ね、この日を迎えた。

研修では連研中央講師の石﨑博敍さん（堺市大円寺住職）が「門徒推進員中央教修について」と題して講義。受講者は西本願寺での中央教修を紹介するDVDも視聴し、関心を深めた。

修了式では28人が得中茂組長から修了証を受け取り、「ご本山で3泊4日の中央教修を受けられ、ぜひ門徒推進員になってください」と、得中組長から激励を受けた。

2023（令和５）年度 本願寺鷺森別院一般会計歳計決算

歳入の部　2023（令和５）年４月１日～2024（令和６）年３月31日

款	費　目	決算額(円)	説　　明
1	懇志	8,881,371	各種懇志
2	回付金	3,755,221	特別会計・教区会計より回付
3	各種交付金	32,000	教化助成費等
4	維持費	4,146,970	別院護持費等
5	負担金	25,167,200	人件費負担金(教区・幼稚園より)
6	雑収入	1,960,184	施設使用懇志等
7	前年度繰越金	17,232,212	2022年度より繰り越し
合　計		61,175,158	

歳出の部

款	費　目	決算額(円)	説　　明
1	法務費	2,063,279	荘厳費、法要費
2	教化費	1,035,740	常例布教・各種教化費
3	事務費	30,302,847	人件費、水道光熱費等
4	会議費	10,591	責任役員・総代会費
5	維持費	4,753,141	営繕費、保険料
6	積立金	1,000,000	営繕積立金、退職積立金
7	予備費	50,000	
合　計		39,215,598	

※歳入合計から歳出合計を差し引いた21,959,560円は2024年度へ繰り越し

2023（令和５）年度 和歌山教区一般会計歳計決算

歳入の部　2023（令和５）年４月１日～2024（令和６）年３月31日

款	費　目	決算額(円)	説　　明
1	教区賦課金	32,447,477	教区賦課金
2	宗派交付金	1,923,040	各種宗派助成金
3	願記手数料	936,500	願記手数料（教区分）
4	回付金	0	
5	雑収入	1,321,049	冊子売上金、預金利息等
6	繰越金	2,834,208	2022年度より繰り越し
合　計		39,462,274	

歳出の部

款	費　目	決算額(円)	説　　明
1	実践運動推進費	5,702,347	実践運動関係費、組助成費等
2	会議費	314,347	教区会・組長会、その他会議費
3	宗会選挙事務費	0	選挙管理委員会開催費
4	教務所費	23,375,488	人件費、事務費、負担金
5	維持費	2,943,440	水道光熱費、維持管理費
6	回付金	560,000	各種特別会計へ回付
7	予備費	58,040	
合　計		32,953,662	

※歳入合計から歳出合計を差し引いた6,508,612円は2024年度へ繰り越し

2024（令和６）年度 本願寺鷺森別院一般会計歳計決算

歳入の部　2024（令和６）年４月１日～2025（令和７）年３月31日

款	費　目	決算額(円)	説　　明
1	懇志	10,497,122	各種懇志
2	回付金	6,888,000	特別会計・教区会計より回付
3	各種交付金	0	教化助成費等
4	維持費	4,167,570	別院護持費等
5	負担金	29,167,200	人件費負担金(教区・幼稚園より)
6	雑収入	1,022,823	施設使用懇志等
7	前年度繰越金	21,959,560	2023年度より繰り越し
合　計		73,702,275	

歳出の部

款	費　目	決算額(円)	説　　明
1	法務費	3,153,383	荘厳費、法要費
2	教化費	1,481,288	常例布教・各種教化費
3	事務費	42,415,428	人件費、水道光熱費等
4	会議費	23,600	責任役員・総代会費等
5	維持費	12,366,409	営繕費、保険料等
6	積立金	2,000,000	営繕積立金・退職積立金へ回付
7	回付金	1,500,000	教区一般会計へ回付
8	予備費	0	
合　計		62,940,108	

※歳入合計から歳出合計を差し引いた10,762,167円は2025年度へ繰り越し

2024（令和６）年度 和歌山教区一般会計歳計決算

歳入の部　2024（令和６）年４月１日～2025（令和７）年３月31日

款	費　目	決算額(円)	説　　明
1	教区賦課金	31,813,263	教区賦課金
2	宗派交付金	2,403,220	各種宗派助成金
3	願記手数料	854,000	各種教区願記手数料
4	回付金	4,500,000	
5	雑収入	2,136,603	冊子売上金、預金利息等
6	繰越金	6,508,612	2023年度より繰り越し
合　計		48,215,698	

歳出の部

款	費　目	決算額(円)	説　　明
1	実践運動推進費	7,374,971	実践運動関係費、組助成費等
2	会議費	686,891	教区会・組長会、その他会議費
3	宗会選挙事務費	109,574	選挙管理委員会開催費
4	教務所費	28,539,644	人件費、事務費、諸費等
5	維持費	2,658,000	水道光熱費、維持管理費
6	回付金	4,750,000	各種特別会計等へ回付
7	予備費	49,351	
合　計		44,168,431	

※歳入合計から歳出合計を差し引いた4,047,267円は2025年度へ繰り越し

お念仏にあえた有り難さ、味わう

親鸞聖人の生涯と鷺森別院の歴史学んだ2日間

練習重ね、新しいお勤めに挑戦

昨年11月24、25両日、午後1時30分からの「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要 本願寺鷺森別院本堂再建30周年記念法要」は、升巴信隆輪番が導師を務め、教区内14組からそれぞれ一人と有志僧侶数人が出勤、雅楽の演奏も加わり、盛大に勤められた。

お勤めは「新制 御本典作法・第一種」。一昨年ご本山での「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」のために新たに制定されたお勤めで、唱読するお言葉はすべて「御本典」と呼ばれる親鸞聖人の著された浄土真宗の根本聖典『顕浄土真実教行証文類』（教行信証）から取られ、節は、日本の声明の源流である大原声明（魚山声明）の節回しが積極的に取り入れられている。

「正信念仏偈」の部分も普段お勤めする草譜や行譜とはまったく違う「和讃譜」という新しい節のため、法要に出勤する僧侶にとっては大きな挑戦となった。

そのため昨年9月5日と10月3日の教区勤式講習会において「新制 御本典作法」の講習を行ったほか、伊那組でも10月17日、同組の希望で同様の講習会を。

初日は武内善信さん㊨、２日目は釈徹宗さん㊧が記念講演

升巴信隆輪番

別院職員も10月3日から11月22日まで16回（1回2人ずつ）ものお勤めの自主練習を重ね、当日に臨んだ。

そのかいもあり、法要では新鮮で厳かなお勤めの響きが本堂を彩った。初日は81人、2日目は73人が参拝。

法要のあとは記念講演。初日は、真宗史に詳しく『雑賀一向一揆と紀伊真宗』（法藏館）の著書もある武内善信さん（和歌山市小豆島・善勝寺住職、元和歌山市立博物館主任学芸員）による「紀伊真宗と鷺森御坊の歴史」。

武内さんは、紀州には浄土真宗のなかでも仏光寺教団と本願寺教団の浄光寺が先に進出していたことに触れながら、1486年（文明18）の蓮如上人の紀州来訪で清水（海南市冷水）に初めてできた本願寺直末の道場が鷺森別院の起源となり、黒江、御坊山（秋葉山）を経て1562年（永禄6）に現在地に落ち着くまでの歴史と、本堂などの堂宇の変遷について話した。

記念布教を行う野瀬妙恵さん

2日目は、宗教学者で相愛大学学長の釈徹宗さん（大阪府池田市・如來寺住職）が「親鸞聖人の生涯に学ぶ」と題して記念講演。

釈さんは、親鸞聖人の晩年に注目。83歳以降、老いを実感されるなかで、火事に遭い、また息子さんと絶縁せざるを得なくなるなどの厳しい境遇にありながら、84歳から85歳にかけて師である法然聖人の言行録『西方指南抄』をまとめられ、86歳で『正像末和讃』を書かれたのは、とてもできることではない。親鸞聖人は「表現する」ことによって厳しい晩年を生き抜かれたのではないか、と話した。

迦陵頻伽さぎのもりのコーラス

初日は「帰敬式（おかみそり）」が午前9時から11時から本堂で執り行われ、1回目は65人、2回目は148人、合わせて213人が受式。

受式者はカーテンを閉め切って暗くした本堂で、仏・法・僧（教団）という「三宝」に帰依し、大谷光淳門主のお手代わりである平川正信さんから剃髪になぞらえて頭に三度おかみそりを頂き、仏弟子としての名前である法名を授かった。

あいさつする中田周敬さん

両日とも法要に先立ち、教区内の寺院女性によるコーラスグループ「迦陵頻伽さぎのもり」が『みんな花になれ』を歌い上げたほか、記念布教として野瀬妙恵さん（滋賀県彦根市・清徳寺）が約20分の法話。

終了に際しては両日とも和歌山教区法要委員会委員長の中田周敬さん（海南市下津町・徳應寺住職）があいさつ。

「850年前に親鸞聖人がお生まれにならなかったら、800年前に親鸞聖人が浄土真宗をお開きにならなかったら、私たちはお念仏の教えに遇うことがなかったかもしれない。そのことを思うとき、このたびの法要は、非常に深い意味のあるご縁であったと思うことでございます」と、話した。

組や寺院単位でも慶讃法要勤める

左記の組と一般寺院でも「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」が勤められた（寺院は9月15日までに組から報告分）。

▼海草組（長谷川義昭組長※当時）＝2023年（令和5）11月19日、会場・同組浄國寺（海南市黒江）。

▼紀南組（眞田陵組長）＝2024年（令和6）11月16日、会場・同組浄行寺（田辺市紺屋町）。

▼日高別院・御坊組（青木和教組長）＝2024年（令和6）12月8日、会場・日高別院（御坊市御坊）。

▼和歌山東組（林博行組長）＝2025年（令和7）7月6日、会場・鷺森別院。

▼伊那組大光寺（藤範雅史住職）＝2024年（令和6）5月25日、会場・同寺院（橋本市高野口町）。

▼伊那組教楽寺（藤範雅史住職代務）＝2024年（令和6）5月25日、会場・同寺院（橋本市高野口町）。

▼和歌山組専養寺（佐々木敏宏住職）＝2024年（令和6）11月9日、会場・同寺院（和歌山市新魚町）。

▼有田南組（雑賀聰組長※当時）＝2023年（令和5）9月9日、会場・きびドーム（有田郡有田川町）。

▼海南組（加藤義秀組長※当時）＝2023年（令和5）11月19日、会場・同組浄國寺（海南市黒江）。

▼紀南組（眞田陵組長）＝2024年（令和6）11月16日、会場・同組報徳寺（和歌山市井ノ口）。

にぎわう境内

境内では「ミートアップ」がピザを、「雑貨と珈琲まめどき」がコーヒーを販売、和歌山刑務所のキャピック展も開かれ、にぎわった。

本堂外陣を刷新、記念事業でトイレ改修

法要の記念事業として、老朽化が進み水漏れ箇所も発生していた鷺森別院内のトイレ（1階男性用・女性用・多目的、1階輪番室）の改修工事を昨年10月1日から11月5日まで行った。4社入札の結果、正真建設株式会社（和歌山市出口中ノ丁33）が1300万円で施工。

これに併せて本堂と建物内の一部改修工事を鷺森別院一般会計の営繕費によって行った。

本堂はこれまで畳敷きだった外陣（参拝席）をタイルカーペット敷きに改修し、イスを設置。これにより履物をはいたまま参拝できるようになった。

ご本尊を安置している本堂内陣、また内陣両側の余間、内外陣という参拝席より一段高い場所は従来通り畳敷きだが、すべての畳を張り替えた。

その工事として、本堂外陣の畳撤去と91枚の畳の張り替えは、3社入札の結果、山哲畳商店（和歌山市島崎町1丁目83）が115万8872円で請け負い、昨年9月24日から11月1日まで作業を行った。

外陣の畳を撤去したあとに床板を張り、タイルカーペットを敷く工事については、3社入札の結果、いくお工務店株式会社（紀の川市竹房779）が、昨年10月7日から20日まで200万円で施工。

本堂に床板を張り付け（昨年10月7日）

1階トイレ改修工事（昨年10月17日）

さらに、別院1階ホール・会議室・ロビー・廊下、階段（2カ所）など別院利用者が目にするほとんどの場所の壁紙の張り直しと、ホール・会議室の床にタイルカーペットを敷く工事については、4社入札の結果、クロスエス（和歌山市新通1丁目27）が昨年10月15日から11月5日まで355万円で作業に当たった。

教区内寺院に懇志を依頼

記念事業のため和歌山教区内各寺院あてに1カ寺5万円以上（住職懇志1万円含む）の懇志を依頼したところ、昨年8月15日から今年3月31日までの受付期間に、180カ寺（65％）と個人12人、3団体から合わせて1111万8500円の進納を頂いた。